

テクニカルダイアリー



写真② ネギの黒腐菌核病

黒腐菌核病について
現在、秋冬・春ネギで黒腐菌核病(写真②③)の発生が深刻な問題となっています。黒腐菌核病はネギに限らず、ニワ、ワケネギ、タマネギにも発生する可能性があります。
一度発病すると、発生圃場での栽培が困難です。黒腐菌核病は糸状菌(カビ)によるもので、土壌にいる菌核から発芽した菌糸がネギに侵入して発病します。発生の要因としては、
①土壌が菌核の好む酸性であり、排水の悪い圃場
②気温が発病適温の15℃前後
③同じ圃場でネギを栽培
などが挙げられます。通常は年



写真③ 黒腐菌核病の被害圃場

明け2月ごろから被害が増加しますが、近年、圃場によっては年内から発生する場合もあるので、注意しましょう。
● 防除のポイント
①定植時の予防散布
昨年からパレード20フロアブルの登録拡大により、苗注処理が可能になりました。苗の段階から使用することで、労働力の軽減にも繋がります。
②秋の2回防除が効果的
病原菌が動き出す9月下旬(平均気温が20℃を下回る)以降に2回の防除を行うことで、被害の軽減が期待できます。

● 防除のポイント
発病後の薬剤散布だと効果が低下するため、発生前に予防剤を中心に散布してください。可能であれば、降雨前にも薬剤防除を行いましょう。
また、排水の悪い圃場や前回発生が目立った圃場では、べと病が発生する可能性が高まるため、他圃場での栽培も検討してください。

べと病について
べと病(写真④)に感染すると、葉に黄白色の病斑ができて灰白色のカビが発生します。べと病はカビの一種であり、主に秋冬・春ネギでは秋と年明けの春ごろに発生が見られます。気温が15〜20℃で発生しやすく、霧や降雨が続く場合も注意が必要です。



写真④ ネギのべと病



栽培管理

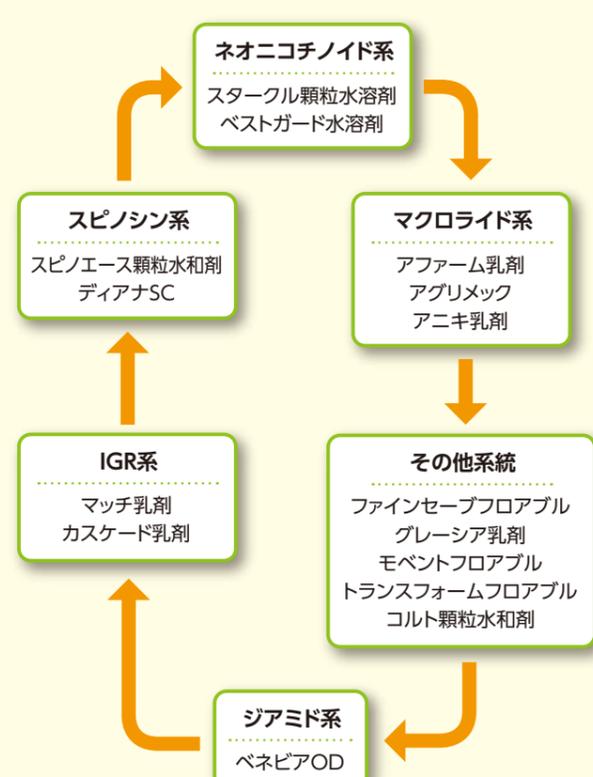
今回は、今後の抑制トマトの生育管理のポイントをお伝えします。
● 高温・しおれ対策
ハウス内が高温で空気が乾燥し、通路が乾いている場合は通路に打ち水を行いましょう(夕方に通路が乾く程度)。
サイド換気以外にも開口部を増やし、外気の導入を図りましょう(ハウス内外の通気を良くすると効果的です)。
高温対策を講じていても、しおれが長引くようであれば、発根促進剤の施用も検討しましょう。
● 着果の安定(ホルモン処理)
十分な高温対策と少量多回数(ハウス内外の通気を良くする)の灌水で、花質の維持に努めましょう。
花房直下の脇芽は花房との養分の競合が起るため、早めに摘除してください。
トマトトーンの濃度はハウス内最高気温の5倍が目安量(30〜40℃の場合は1500〜2000倍程度で、しっかりとかけてください)。トーン処理は高温時間



写真① 異常茎(めがね)

帯を避け、朝または夕方に行いましょう。
● 異常主茎対策
異常主茎(写真①)が懸念される場合、脇芽は大きめで除去し、窒素の各生長点への分散を図り、異常主茎を回避しましょう。
ヨーヒB5などのホウ素の葉面散布が、異常主茎予防には有効です。

図① トマト害虫の薬剤散布のローテーション例



● コナジラミ類対策
同じ薬剤を連用すると、薬剤抵抗性を助長させるので、ローテーション散布を心掛けましょう(図①参照)。ローテーションの効です。
※異常主茎の兆候
①生長点付近の茎の紫色が濃くなる。
②生長点付近の茎に縦のスジが入る。
③生長点付近の茎が斜めに傾き、節間がつまる。
病害虫防除

表① トマトの葉かび病に適用のある薬剤

薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数	特性
ベルグートフロアブル	2000〜4000倍	前日まで	3回以内	予防
ダコニール1000	1000倍	前日まで	4回以内	予防
ペンコゼブフロアブル	1000倍	前日まで	2回以内	予防
アフエットフロアブル	2000倍	前日まで	3回以内	予防
トリフミン水和剤	3000〜5000倍	前日まで	5回以内	予防・治療
アミスター 20フロアブル	2000倍	前日まで	4回以内	治療

中には、抵抗性のない気門封鎖型の薬剤も加えましょう。
● 葉かび・すすかび病対策
多湿条件で発生するので、葉かき等で風通しを良くしましょう。葉かび病とすすかび病は予防・治療剤ともに共通であることが多いので、同時に防除しましょう(表①参照)。

「営農情報メール」配信中! 登録無料!!

作柄情報 病害虫対策 青果物概況 イベント案内 など

◆登録は、右のQRコードまたはJA山武都市のホームページから!
(スマートフォンもしくはパソコンのメールアドレスをご登録ください。)

◎JA山武都市の組合員なら、どなたでも登録できます!!

最新情報をお届けします

7月の分析経過について 残留農薬分析点数・・・7月は実施なし 土壌診断点数・・・合計55点